

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	篠栗町			代表者名	町長 三浦 正
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	財産活用課情報政策係	連絡先電話番号	092-947-1171
担当者役職	主査	担当者氏名	田中 拓来	連絡先E-mail	
住所	811-2492 福岡県篠栗町中央一丁目1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	デジタル大使制度（デジタルデバイド解消事業）
概要	DXの推進において、デジタルデバイドの解消が求められている。今回の派遣により、令和8年度予算にて実施する取り組みに関して、専門的視点からご助言をいただきたい。		
支援を求める分野	デジタルデバイド対策		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年9月24日	支援・助言(オンライン)	13時00分	14時00分	
				活動時間（分）	60
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	椎名 隆之
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	連携する課の係員とともに、どのようなプロジェクトにしていくなか、椎名様のご助言をいただきながら議論を深めることができたから。
アドバイザーへの要望事項	特にございません。ありがとうございました。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	4人
	属性	自治体職員	住民
	人数	4	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	全国でも似たような事例が無く、事業の計画を一から検討したため、実現可能性に不安がある。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	住民が事業に積極的に参画していただき、デジタルデバイドがほとんど無い町になること
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	事業実施内容の詳細について、様々な視点からのご助言および改善案をいただいた。

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)		高齢者を事業に巻き込んで、主体的に活動してもらえるためのインセンティブ設計等の工夫点についてご助言いただいた。 具体的な内容 具体的にプロジェクトを実施する際の注意点として、全国の盛り上がったイベント事例や高齢者が喜び制度の仕組み等をまとめた「篠栗町デジタル大使制度設計案」としてデータをいただいた。	
具体的な成果物		最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
		なし	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)		なし	
アンケートの内容と分析結果		講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果について記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由を記入下さい。	
		なし	
4-3. 今後の計画		最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
		令和8年度予算要求→下半期に事業実施	
4-4. 事業の最終的な目指す姿		高齢者のデジタルデバインドがほとんど無くなった町	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可			
掲載許可		☐ 掲載可	
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい			
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子			
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。			